

平成24年度 市政懇談会(有家・西有家地区)会議録

- 期 日 : 平成24年5月18日(金)19時30分～21時20分
 □ 場 所 : 西有家総合学習センター
 □ 出席者数 : 54人

質疑内容	回答	回答者
行政と議員にお願いしたい。市は不正事件が多い。税務課2件あり、1年2年後にようやくわかって、どうして首にしないのかと意見しました。回答は成績がよかったからと、副市長が辞めさせませんでした。水道課の職員と地籍調査の職員は、業者からの賄賂で辞めさせられました。最近では、補助金を使い込みや、暴言を吐いたと一カ月の停職。南島原は県内で代表的に不正事件が起こっているの、南島原100条委員会をつくって、首にするなどの措置をするようにしてください。今後、徹底的に条例をつくって、首にするようにしてください。	職員の不祥事については、改めてお詫び申し上げます。今後、絶対無いようにとの思いの中で法の範囲内で、チェック体制を強化し、条例、規則で最高の処分をするように考えていかなければいけません。	市長
今度、インドネシアのスマトラ島に行きます。スマトラ島の人口は400万人です。日当は一日200円から220円です。西有家町より町並みは立派です。13年前に5000人くらいは嫁をもらっていないとのデータがありました。今では1万人くらいいるのではと思います。農業漁業、所得低い人等、55歳くらいで嫁さんもらえないでいます。一週間、インドネシアから10人、5人なり、日本語を勉強させて、花嫁対策として連れて来るとか考えたらどうですか。行政も議員も政治だけでなく、一つ重点的に協力を500人でも、300人でも増やす。ある程度の人口がいなければどうにもなりません。行政は立ち上げてください。議員にお願いです。現在、議員の人数が多過ぎます。15人にすれば、経費削減になります。次回の選挙の時は、15人にしてください。	少子化問題は一番の課題です。産みやすい、育てやすい環境にしなければいけません。正直、実らないのが現状です。花嫁対策については農業委員会で取り組んでいるわけですが、全体的(異業種)に取り組んでいかなければならないと考えており、今後ともよろしく願います。	市長
日本全体的に、根本的な人口の増加策はなかなか見込めません。今後は交流人口の増加を考えていかなければいけません。南島原市の知名度を上げる必要があります。4月上旬に佐世保出身の県議会議員との誕生パーティーに出席し、南有馬ですと話しましたが、実はご存知でありませんでした。県会議員がご存知でなかったんです。観光協会や市が発信するのではなく、市民一人ひとりが情報発信をしてみようですか。市長がフェイスブックをされているように、一般市民向けに講習会を開いて、南島原市の情報を発信してください。テレビCMを使わない、個別レベルのコマーシャル、お金をできるだけ使わないです。実際動くのは市民が動く。近隣では佐賀県武雄市を真似していく必要があるのではないかと思います。	南島原市の認知度を高め、広く知ってもらうための手法として、佐賀県武雄市がやっている、市民全員がフェイスブックをとのご提案でしたが、九州では2カ所していると聞いています。私たちの市でも真剣に考えていかなければいけないと考えています。お金の掛からない情報発信を、皆さんとともにしていかなければいけないと思います。	市長
口之津開港450周年記念事業についてです。私はのだ自慢の予選会に出場しました。個人的にはイベントも好きですが、次の開催の時には忘れ去られます。私はこのことを打ち上げ花火と言っています。継続的、永続的なPR活動、そういうものができないでしょうか。もっと市民一人ひとりの笑顔が見られるものができないものか。人を呼んで、さらに永続的な観光施策がないか。いらっしゃったときに、市内に何か少しでもお金を落としてもらえればと思います。昨年、加津佐駅跡地を道の駅にして農産物に特化したものを、地元のを売ってほしいと述べました。こんないい市はないですよ。でも、売り方が下手です。雲仙市は売り方が上手です。	①450年記念事業が打ち上げ花火に終わらないように、当然のことです。南島原市を知ってもらう、まずは手段として行ないます。後につながるように、南島原市はそれぞれ特色ある8町が合併し、特色も8倍になったわけですが、一体化しておらず、発信が不足しています。素晴らしい特産品等を全国に発信するように今度の事業も取り組んでいます。情報発信の方法は、高田副市長を民間から登用しておりますので、高田副市長に補足をしてもらいます。 ②貴重なご意見ありがとうございました。私が南島原市に来て、まる一年が経ちました。目標は南島原市という名前をどうやって世の中に伝えるかの方法を考えました。450年プロジェクトを通じて、連続して情報を発信していくことのキックオフということでNHKを採用しました。NHK長崎放送局長からのど自慢のお礼を言われました。昨年から今年にかけて、南島原市で開催したのど自慢で最高視聴率をとったからです。南島原市在住だけでなく、多くの出身者の方に見ていただいたのではないかと思います。おっしゃるように情報を広げるのは非常に困難なことです。実はオランダ村をつくった時に、西彼町を全国区にするのにいろいろな手法を使いました。1、2年ではできません。情報を出すには、行動が何らかの価値のある行動を続けていかなければいけません。特に、秘書広報課の職員に情報発信の教育をしています。最近、南島原市は元気だとよく聞きます。今日の新聞には南島原市の民泊の記事がカラーで大きく掲載されました。普通だとここまで取り扱いが滅多にありません。継続してやっていくようにしています。	①市長 ②高田副市長

質疑内容	回答	回答者
農産物について、農産6次産業についてどう思われますか。	6次産業は、国も大きく後押しする計画になっています。1次、2次、3次産業をプラスしたところの産業化です。ぜひ取り組んでいきたいと思えます。	市長
不祥事について、永門副市長、ガバメントで押さえつけてしていくのはもう限界があるのではないのでしょうか。ガバナンスについてどう思われますか。	市長が申しましたように、反省して、お詫びしたところです。私自身が実務の責任者です。約500人の職員がいます。しぼりつけには限界があります。私が職員一人ひとりが原点に立ち直り、モラルを再認識することが第一です。いろいろな外郭団体の事務を扱っているのが、74件あり、こうした事務処理について管理体制の確立をしっかりとさせます。これから絶対あつてはならない、管理職の管理認識の確認、職員のモラルを徹底していきたいと思っています。	永門副市長
有家バイパスはどこからどこまで、どの期間に建設をされるのか。 有家町の説明で聞きました。そういう計画であれば、西有家町にも付随した建設計画であってほしい。西有家も込み合っています。せめて、西有家の海岸線の広い道路も計画の一環にさせていただいて、延長していただき、産業観光に役立てる道路になってほしい。地元業者、部品を使わせていただき、地元の産業発展に役立てていただきたい。地元の発展のため、延長してほしい。	今、ジャスコ前から西有家について、渋滞します。有家町の蒲河橋から運動公園にいたるコースを考えています。また、西有家へはそこから西有家中学校の運動場の横にくるコースでできればと考えています。まずは有家地区からと考えています。	市長
教育長が出席されていないようですが。	教育長は出張のため、欠席しています。来週から市政懇談会に出席します。	秘書広報課長
南島原市の遠距離通学補助金ができ。塔ノ坂に住む中学校の生徒がどのようにして、通学しているのですか。聞いた話によるとバスでは授業に間に合わないと言っています。本当ですか。	塔ノ坂には、中学生を対象に遠距離通学の補助を出しています。公共交通機関が通っている路線ということで、参考に公共料金の1/2を通学費用を補助しています。朝は早く、夜は部活をすれば遅くなるということで、見合うバスがない状況です。補助を出すことによってご家族に対応していただいている状況です。	教育次長
市長にお尋ねします。遠距離通学補助金要綱ができたそうですが、堂崎に対してはバス代の補助金、その他の夏吉、梅谷に、他の交通手段をとって、タクシーで送り迎えをしています。島原鉄道の赤字路線には補助金を出していると言っていますが、間に合わないバスの時刻表にだまっていってしまうのか。親が送り迎えしているということで、補助金としてはバスの1/2となっており、親は仕事できないようになります。夏吉、梅谷と同じようにされるのか、島鉄に間に合うような時刻にバスを出してほしいと考えますが、市長の考えを教えてください。	まだ、内容が統一されていない状況です。細かい内容を把握していないので、教育委員会と検討させていただき判断します。今日は返事できない状況です。	市長
小学校の統廃合をされるということで、前は早くしてほしいという意見でした。今は、堂崎小に行っています。先生方も熱心で不満もありません。統廃合になり、有家小学校に行った場合、バス料金も発生するのですか？事故が多いので、バスを堂崎支所まで入れてほしい。	統廃合については、検討を進めています。最終的な実行計画は、まもなくまとめたかと考えています。廃校になった場合の本校への通学については、子どもたちの安全に関する部分を重点的に考えていきたいと考えています。地元の人たちと話をさせていただきますが、交通手段については、通学バスを出していく方向で検討をしていきたいと思えます。	教育次長
昨年、長崎の矢上大橋の無料化をお願いしました。ありがとうございました。	当然、一緒になってお願いしました。	市長

質疑内容	回答	回答者
<p>永門副市長から管理認識の確認と話がありました。不祥事が起こるまでのチェック体制ができないものか。具体的に伺います。市役所における管理職員はどこまでで、登用はどのようにしてされるのか。年功序列なのか、試験制ですか。一般職員に何らかのチャンスを経ないことには管理職の認識は育たないと思います。</p>	<p>①今までの公務員の制度からしますと、そこまでのチェックを生かしての登用はないのが状況です。管理職にふさわしくない職員は管理職にしません。管理職にふさわしいかどうかの登用チェックは、試験をしたりとかは現在のところしていません。これからは、副市長、部長あたりと、これからの市職員の人事管理制度をつくり、人事異動をしていきます。市職員の仕事が千差万別なので、どうふうなチェックをしていくのか、日本全国検討していますが、この方法がよかったというまちはなかなかない状況です。取り組んでいるまちもあるようですが、実際、職員の処遇あたりまで影響する体制は、つくっていないのが現状です。近いうちに、つくらなければと考えています。</p> <p>②職務の体制は部局長、課長、班長、班員の体制です。職員の管理は実務は課長が責任者となっております。チェックの必要な外郭団体は74団体があり、通常の会計事務もあります。それぞれの関係部署の担当者が事務をしています。通常は課長が見ることとしています。部長・支所長会議での会議の内容を、各課で確認する体制をとっています。今後は、書類、印鑑、通帳の保管方法確認、帳簿内容確認を抜き打ちで検査していきます。管理職への登用の部長、課長については、人事課で掌握している書類(能力的な評価、明記)を見ながら、人事の異動時期になると、年齢、経歴を鑑み市長に答申しています。</p>	<p>①市長 ②永門副市長</p>
<p>南島原市勢要覧について、あまり見る気がしません。内容がありきたりで、何をどのような手立てでしていくのか、なかなかわかりません。市民から市政が見えるような要覧にしていただければと思います。</p>	<p>市政要覧について、見る気がしないとの言葉がっかりしています。一生懸命作りました。よくできていると、お褒めの言葉もいただいています。貴重なご意見を肝に銘じ、今後の市勢要覧の作成に反映させていきたいと考えています。ありがとうございました。</p>	<p>市長</p>
<p>私の店では毎日、清潔で、怪我がないように、毎日朝礼をします。補助金をもらう人を、一人ではなく一カ月に一回は他の人がチェックするとか、税務課が課長が行かずに平の職員が行った場合は、次の日にチェックする。2人体制ですれば、そういう不祥事は起きないと思います。</p> <p>農業漁業がよかったら、商工業もよくなります。行政もしっかり頑張ってください。南島原は不祥事ばかりだから他の市町に対してみっともない。市長、副市長、部長、目を光らせてよろしくお願いします。</p>	<p>貴重なご意見を肝に銘じ、頑張ってまいります。</p>	<p>市長</p>
<p>堂崎地区は基盤整備が大分進み、道路がよくなりました。南島原市の深江、布津、堂崎は進んでいる方です。私は遊休農地を4反10枚所有しています。場所が狭いので、基盤整備を継続的にされる予定があるのか。希望は面積を減らしてでもお願いしたい。</p> <p>基盤整備した土地は、どれだけ投資しても南島原市から逃げるわけではない。基盤整備したところは一枚も荒れた土地はありません。借り手があります。去年たばこ農家が結構辞められました。後、全て耕作されています。基盤整備がされていないところは、する人がいません。南島原市の財産が目減りします。20haはものすごく広いわけです。5haでもいいから足りない分は市で補填するとかしてもらいたい。ほとんど石垣積みで、皆さん好評です。面積も南島原市独自の案をつくってもらえないか。何枚も段々畑で、石垣継いでする気もありません。南目にあつた方策がないか検討をお願いします。</p>	<p>圃場の20ha以上は県が事業主体で、5~20ha未満は市になり補助率が変わってきます。後の維持管理、畑地かんがい、農地が広いほど維持管理費が少なくて済みますので、20ha以上でお願いしています。加津佐、堂崎の原尾が今年完成、諏訪地区が34.4haで29年度までの計画で、いろいろな所で推進をし、一生懸命やっています。</p> <p>市単独で1/2補助があります。それは単独ですので、限度額はたいしたことありません。個別保障制度、貸し手と借り手で今年のはじめて動き出しています。周辺を全て借りて、借り手がいないか農林課で始めています。農林課に聞いてください。</p>	<p>農林水産部長</p>
<p>遊休農地に植えているみかんの木が枯れて、燃やすとなれば、どのくらいまでいいのか。ぜんぜん燃やしたら駄目なのか。困っています。どうすればいいのですか？</p>	<p>基本的に、野焼きはできないとなっています。木の大きさによりますが、衛生センターに搬入していただき、焼却をお願いします。</p>	<p>市民生活部長</p>

質疑内容	回答	回答者
<p>市勢要覧の「響」にうちの子どもが載っています。企画振興課の講座に参加し、心にゆとりができました。ありがとうございました。回答はいりません。</p>		
<p>堂崎埋め立てがあっています。ここ半年くらい、埋め立てが進んでいる状況です。進捗状況を教えてください。どういう位置づけにするのか。有馬商業跡地については苦慮されていると聞いています。広大な埋め立てが行なわれています。あと何年で完了するのか。利用計画はあるのですか。</p>	<p>堂崎海岸の埋め立てについては、雲仙普賢岳噴火の土石流の捨て土対策としてスタートしました。私が就任後に、県・復興事務所に進捗状況を聞いたら、土石流対策の事業であるので早めるわけにはいかないという回答がありました。雲仙普賢岳には1億の大きなドームがあり、地震等あったら流れるのではと心配しています。あれがどの範囲で被害を被るのか検討委員会で発表されました。今、埋め立てについては20haくらいあります。これは土石流対策として、対応しなければいけない話でした。有馬商業跡地については、議会でも質問、検討委員会を23年度に組織し、検討結果、7つの案が答申されました。まとめた中で、市の考えを3つに絞り県に打診をしています。今年度中に、さらに絞っていきます。それを、県と相談し、当然、1つの方法に絞り込んでいきます。いろいろ案がでました。文化博物館の施設、産業に関する施設、スポーツ施設、企業誘致の施設、いろいろ案を出してもらいました。県と相談をしているところです。</p>	市長
<p>昨日今日あたり、有家支所駐車場が満杯です。元NTTのところから旧公民館に通っていました。旧公民館跡地は更地にして、駐車場のようになっています。島鉄が廃線になっているので、現場を見てもらい、元NTTからありえコレジヨールの駐車場につながるような計画ができませんか。</p>	<p>総合的な部署がからんできますので、現地で立ち合わせてください。 【後日対応】 日程調整中。</p>	建設部長
<p>防災無線についてです。4月中旬ごろに、市役所から無線の放送があると聞いて、家にはおじいちゃんとおばあちゃんがいました。私たち二人はわからないので、おじいちゃんおばあちゃんも耳が遠く、中身がよくわかりませんでした。何の事が不安でいっぱいでした。今、生活で不安に思っています。私たちにすぐ詳しい連絡が入る方法をとってもらえれば、携帯にメールで連絡とか。地震、台風や竜巻とかがあるので情報を早くお願いします。</p>	<p>災害時の伝達方法として、個別受信機を各世帯に配布予定です。現在、携帯電話のエリアメールのサービスに申し込んでいるところです。市独自の情報伝達方法があるそうです。他にはFAXとかの伝達方法があると聞いております。私たちも認識が十分でないので、今後のサービスの配慮をし、対応していきたいと思えます。</p>	総務部長
<p>高田副市長は公募による募集ということで期待しています。第一声で、企業誘致を図る、将来生かされれば、若者が定着します。中堅層が働く場所がないのが現状で、人口増加にもつながります。高齢化が進んでいます。日本も高齢化で頭を痛めています。国が23パーセント、22年度末南島原市が32.3パーセント、10歳先行しています。2、3パーセントの差だったと思いますが、何としても交流人口を増やすこと。大事なことは南島原市の中で人口が増えることが喜ばしいことだと思います。増やしていくことには、基幹産業の充実を図ることもあると思えます。一方で、一人暮らし高齢者、2人高齢者、老人施設も日本一だと言われています。夢のある老人天国、定年を迎えた方の最後の安楽な場所として。前は有明海、後は雲仙岳、温泉地もたくさんあります。快適な場所はどうかと、全国にアピールしてほしい。全国から寄せる、集めるお考えはないですか。民間から入られ、感覚が違った立場で、南島原の生かし方を風穴をあけていただければと思います。</p>	<p>企業誘致ですが、今、東京を含め活発に動いています。ただし、大半の場合が、環境、道路、輸送の問題において、非常に厳しい状況です。保養所として都会では得られない、この土地のよさ、温泉などを含め、特にIT産業はメンタル面で厳しい状況になる人がたくさん出てくるそうです。ここで癒しを一つの産業という意味で同時に進めます。IT産業の健保組合があり、ホテルをつくり企業が滞在する。東京の場合は老人施設が不足していて、入る順番を待っている状況です。施設、建物の空きがあれば、東京の人がこちらの老人ホームに入るという話も東京の企業から話を聞いています。企業誘致は大事です。会社がここに投資して、食品関連の工場を造って、ここでとれたのを新たな製品にする、関係の投資環境をつくることに力をいれていかなければいけません。長崎にもありますが、リハビリテーションに南島原市は適した環境です。今、延びている。どういう土地を提供できて、どれだけの条件が出せるのか、これから検討していきます。食品関連、IT産業については市の補助のハードルを下げながらやっています。</p>	高田副市長